

## 成果の説明書

|   |             |
|---|-------------|
| (氏名) 八木橋 慶一   | (学部) 地域政策学部 |
| <p>1 重要事項</p> <p>① 研究活動</p> <p>『地域政策研究』第22巻第4号(高崎経済大学地域政策学会)に「地域福祉における「終活」支援と行政の役割：横須賀市の事例から」、『産業研究』第55巻第1・2号(高崎経済大学地域科学研究所)に「イギリスにおける社会的企業振興策と「ビッグ・ソサエティ」についての一考察」を掲載した。</p> <p>また、日本NPO学会第21回年次大会(於龍谷大学)において、「社会的企業と「ビッグ・ソサエティ」—政策イデオロギーの観点から—」の報告を行った(6月2日)。そのほか、国際公共経済学会第34回研究大会(於高崎経済大学)では、パネルディスカッションⅢ「社会的企業のグローバル化と国際比較」にパネリストとして登壇した。「公共サービス改革と社会的企業—イギリスを例として—」を報告し、他のパネリストと社会的企業の国際比較研究の動向についてディスカッションを行った(12月8日)。</p> <p>② 教育活動</p> <p>令和元年度は、前年度に引き続き「NPO論」(前期)、「社会起業論」(後期)、「コミュニティビジネス論」(後期)の3つの講義を担当した。通常の講義以外に、実務家をゲストスピーカーとして招聘、具体的な活動を紹介してもらう機会を設けた。招聘者は、NPO法人や社会的企業の代表者、ソーシャルビジネス支援を行う金融機関の責任者である。講演後に提出を求めたレスポンスシートの内容から、受講生が社会的企業やその支援組織の実態を深く理解できたことを確認した。</p> <p>また「基礎演習」(後期)、「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」の3つのゼミを担当した。基礎演習(2年ゼミ)では、社会的企業研究に関する基本文献の輪読を行った。「演習Ⅰ」(3年ゼミ)では、社会的企業研究の専門文献の輪読、グループ別での調査を行ってもらい、卒業論文の執筆に必要な知識や情報を学生が習得したことを確認した。「演習Ⅱ」(4年ゼミ)では、卒業論文の指導を行った。全員一定水準以上の論文を提出することができた。</p> <p>③ 学内業務・社会活動など</p> <p>学内業務では、入試担当学部長補佐として学部入試全般にわたる業務に携わった。そのほか、高校への出前授業も一件担当し、群馬県立富岡高校に出講した(11月7日)。講義名は、「コミュニティビジネスとは何か～地域貢献の新しいかたち～」である。</p> <p>社会活動では、日本政策金融公庫高崎支店が中心となり、高崎商工会議所などと連携して発足させた「高崎ソーシャルビジネスサポートネットワーク」の顧問を引き続き務めた。学会活動では、日本政治法律学会の理事、日本地域政策学会の編集委員を引き続き務めた。</p> |             |
| <p>2 その他の事項</p> <p>特になし。</p>  |             |

3 次年度以降の計画・抱負

- ① 博士論文の出版に向けた研究を行う。
- ② 上記以外に継続して行っている研究成果をまとめ、発表する。
- ③ 卒業論文作成のために、演習Ⅰと演習Ⅱのそれぞれできめ細かい指導を行いたい。